

登録コード	A3596491	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究					担当教員	守口 海	
英文授業名	Thesis Research							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					自らが収集したデータや研究の目的に応じた、解析の選択・実行能力を修得する。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					自らが収集したデータや研究の目的に応じた、解析の選択・実行能力を修得する。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					自らが収集したデータや研究の目的に応じた、解析の選択・実行能力を修得する。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					自らが収集したデータや研究の目的に応じた、解析の選択・実行能力を修得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	自らが収集したデータをもとに解析を行う。							
(5)授業計画	1. 調査結果の基礎統計量の算出 2. 研究目的に即した各種データの位置づけの再確認 3. 先行研究における分析方法のまとめ 4. 分析方法の理論的基礎 5. 分析方法が持つ仮定の整理 6. 分析の実行 7. 分析方法に関連する課題の整理 8. 分析方法の改良可能性の検討 9. 複数の分析結果の比較 10-15. 本分析の実行 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施します。							
(6)自主学習の指針	学修すべき内容は個別に提示する。							
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない。（59点以下）							
(8)事前事後学習の内容	事前学習：自らの用いる解析方法の理論的基礎を、参考書等を用いて学習しておくこと。 事後学習：解析方法の理論的基礎を考慮し、解析結果の解釈を深めること。							
(9)テストやレポートの予定	分析の実行状況をプレゼンし、これを以てレポートとする。							
(10)成績評価の方法	分析の実行状況を説明するプレゼンにより、総合的に評価する。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	ゼミ室またはB棟203号室にて受け付ける。							
(12)履修上の注意	同じ研究室の他のメンバーの分析方法についても、理解を深めること。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							